

35	<p>①2012年廃止方針自体、早期に取り消すべきである。</p> <p>②療養病床の基準や質の向上への条件を更に強化し、選ばれる施設としてのレベルを明確にすべきである。</p>
36	<p>療養病床の機能はやはり整理すべきと思います。したがって、介護の療養病床は老健等になることが自然のような気がします。</p>

## 第IV 介護老人保健施設の調査(平成 19 年度)と 慢性期医療機関(平成 21 年度)の調査結果における比較検討

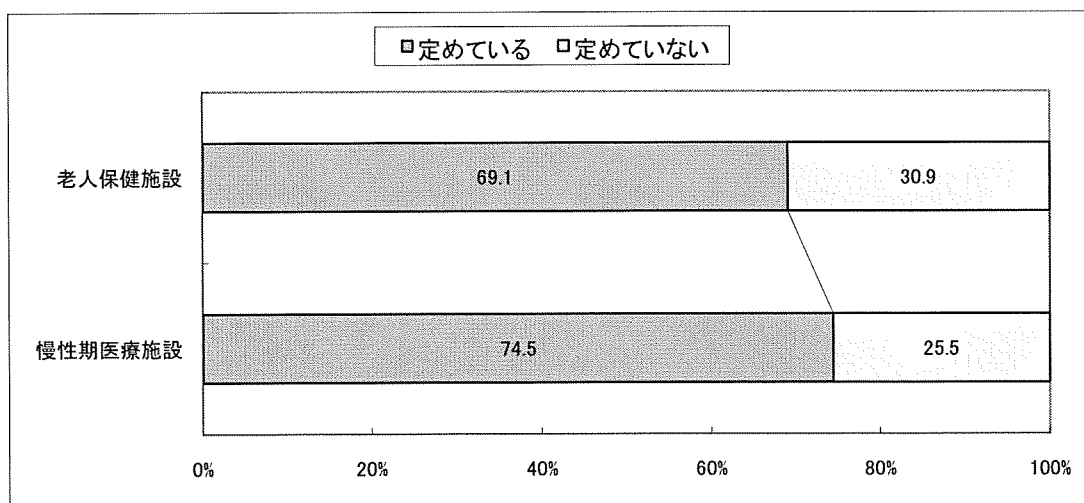
平成 19 年度の老人保健施設と平成 21 年度の慢性期医療施設との比較のために、単純集計で分析された各事業所における「コンプライアンス経営」について実施している質問項目について、クロス集計を平成 18 年度の老人保健施設と平成 21 年度の慢性期医療施設の施設区分で  $\chi^2$  検定を実施した。

### (1) 法人・団体の社会的責任に関する各種規定とコンプライアンス経営の実態

法人・団体の社会的責任に関する規定・倫理綱領・行動規範等を定めているかについて、老人保健施設では「定めている」が全体の 69.1 %であったのに対し、慢性期医療施設では 75.5%と 7 割を超えていた。

表IV-1 法人・団体の社会的責任に関する各種規定とコンプライアンス経営の実態

	法人・団体の社会的責任に関する規定を				合計		P
	定めている		定めていない		N	%	
老人保健施設	719	69.1	322	30.9	1041	100	0.08
慢性期医療施設	137	74.5	47	25.5	184	100	
合計	856	69.9	369	30.1	1225	100	



図IV-1 法人・団体の社会的責任に関する各種規定とコンプライアンス経営の実態

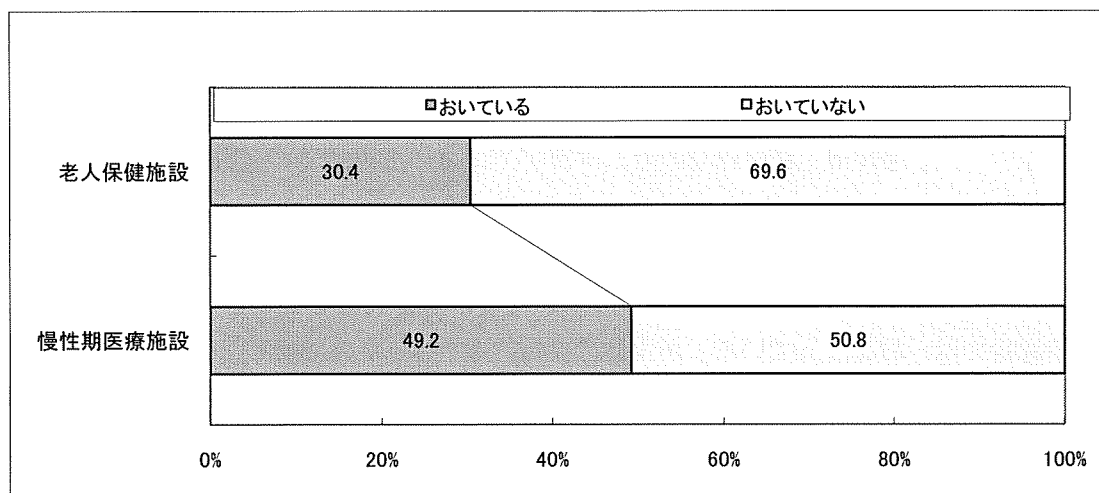
### (2) コンプライアンスのための担当者の有無

コンプライアンスのために施設内に担当者をおいているかについては、老人保健施設では「おいている」が全体の 30.4 %であったのに対し、慢性期医療施設では 49.2%で約 5 割の施設が担当者をおいていた。また、 $\chi^2$  検定の結果、統計的に有意な差が示された。

表IV-2 コンプライアンスのための担当者の有無

	コンプライアンス担当者				合計		P
	おいている		おいていない		N	%	
老人保健施設	316	30.4	723	69.6	1039	100	0.00**
慢性期医療施設	92	49.2	95	50.8	187	100	
合計	408	33.3	818	66.7	1226	100	

\*\*P<.01



図IV-2 コンプライアンスのための担当者の有無

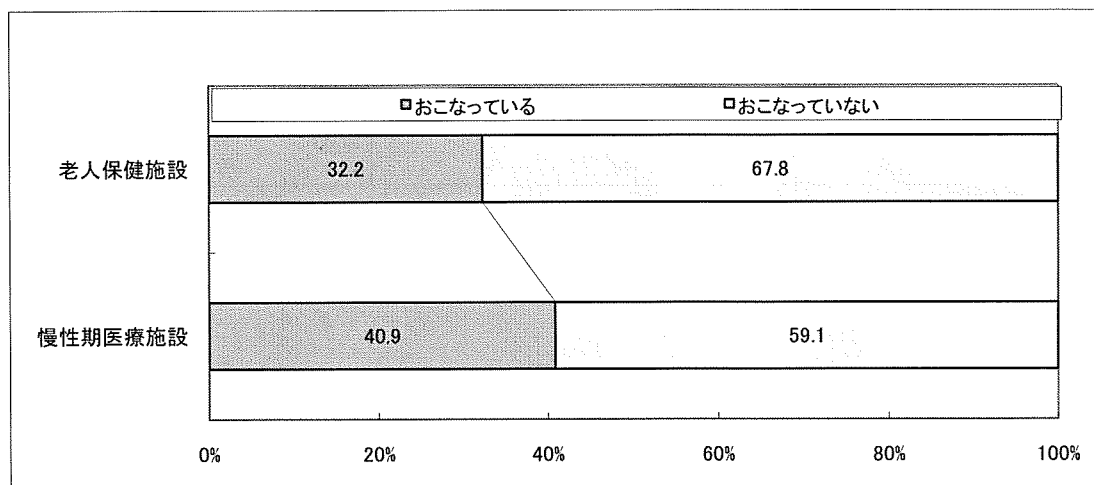
(3) 施設内でのコンプライアンスの把握調査の実施

施設内でのコンプライアンスの把握調査を実施しているかについては、老人保健施設では「おこなっている」が全体の32.2%であったのに対し、慢性期医療施設では40.9%で約4割の施設がコンプライアンスの把握のための調査をおこなって。また、 $\chi^2$ 検定の結果、統計的に有意な差が示された。

表IV-3 施設内でのコンプライアンスの把握調査の実施

	施設内でのコンプライアンスの把握調査の実施				合計		P
	おこなっている		おこなっていない		N	%	
老人保健施設	332	32.2	698	67.8	1030	100	0.01*
慢性期医療施設	76	40.9	110	59.1	186	100	
合計	408	33.6	808	66.4	1216	100	

\*P<.05



図IV-3 施設内でのコンプライアンスの把握調査の実施

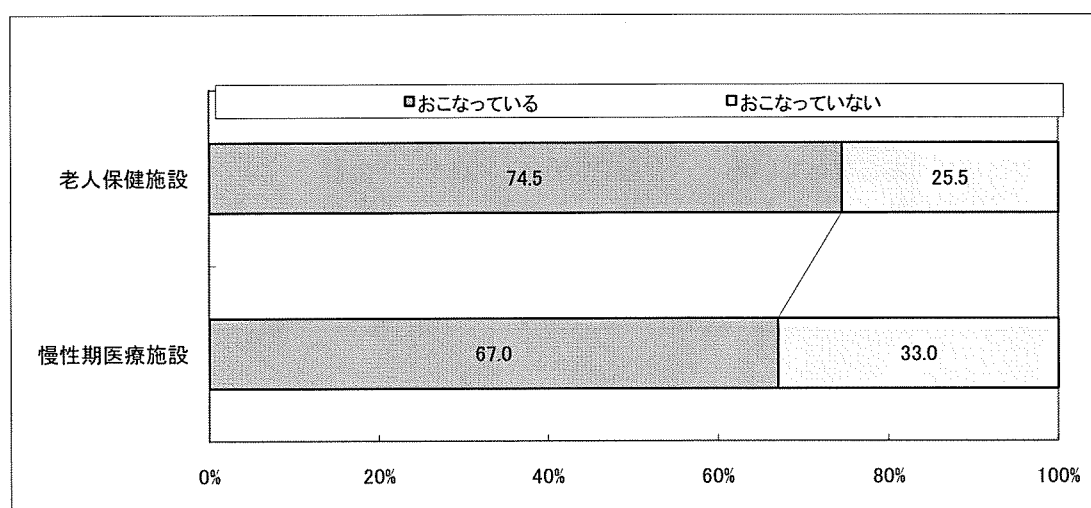
(4) コンプライアンスの徹底\_定期的な研修の実施

施設内での定期的なコンプライアンスについての研修を実施しているかについては、老人保健施設では「おこなっている」が全体の 74.5 %であったのに対し、慢性期医療施設では 67.0%で、老人保健施設よりも慢性期医療施設では定期的な研修を実施していない事業所が多いことが明らかになった。また、 $\chi^2$  検定の結果、統計的に有意な差が示された。

表IV-4 コンプライアンスの徹底\_定期的な研修の実施

	定期的なコンプライアンスの研修実施				合計		P
	おこなっている		おこなっていない		N	%	
老人保健施設	770	74.5	264	25.5	1034	100	0.02*
慢性期医療施設	126	67.0	62	33.0	188	100	
合計	896	73.3	326	26.7	1222	100	

\*P<.05



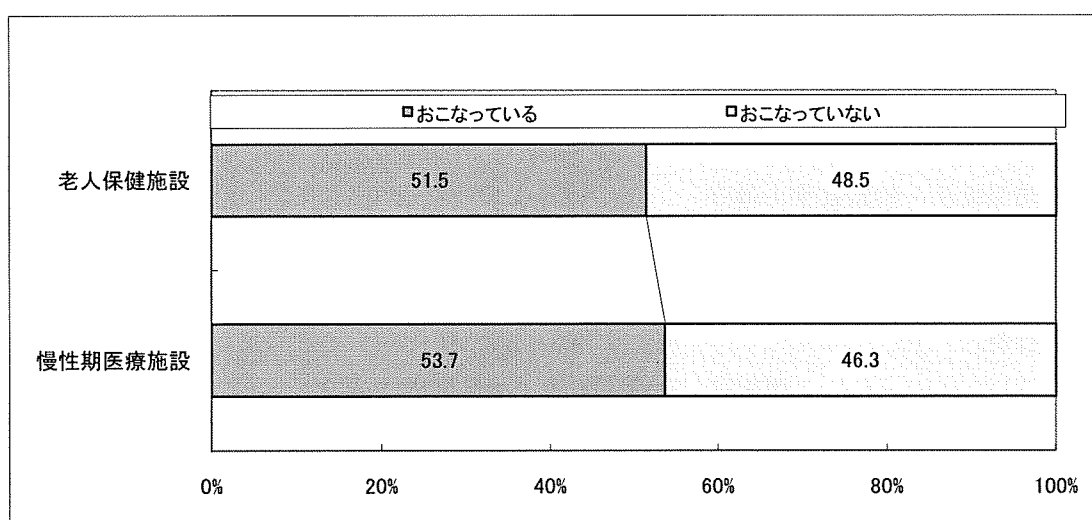
図IV-4 コンプライアンスの徹底\_定期的な研修の実施

(5) コンプライアンスの徹底\_管理者等の定期的な訓示の実施

施設内でのコンプライアンスについての管理者等の定期的な訓示を実施しているかについては、老人保健施設では「おこなっている」が全体の51.5%でほぼ半数であったのに対し、慢性期医療施設においても53.7%で、ほぼ半数であった。

表IV-5 コンプライアンスの徹底\_管理者等の定期的な訓示の実施

	管理者等の定例な訓示の実施				合計		P
	おこなっている		おこなっていない		N	%	
老人保健施設	532	51.5	502	48.5	1034	100	0.31
慢性期医療施設	101	53.7	87	46.3	188	100	
合計	633	51.8	589	48.2	1222	100	



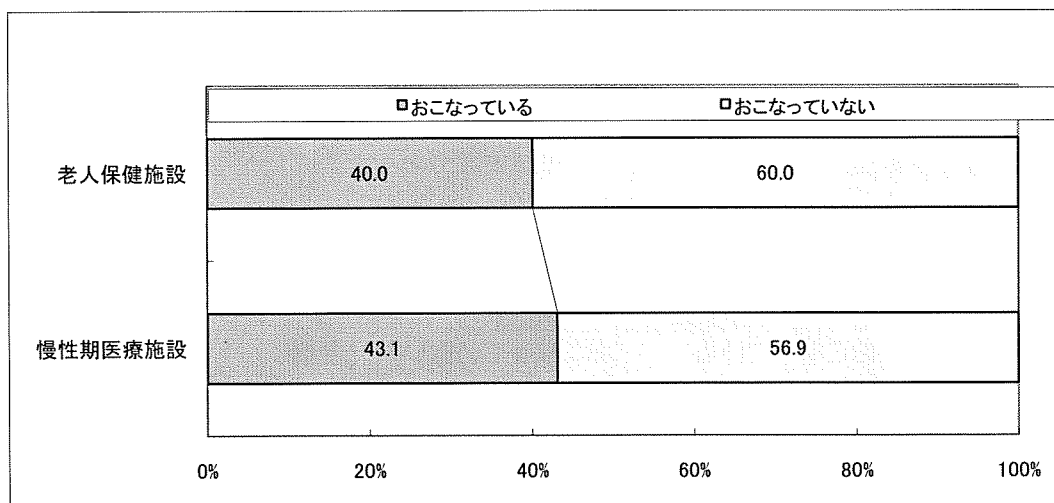
図IV-5 コンプライアンスの徹底\_管理者等の定期的な訓示の実施

(6) コンプライアンスの徹底\_管理者等の随時・個別の指示の実施

施設内でのコンプライアンスについての管理者等の随時・個別の指示を実施しているかについては、老人保健施設では「おこなっている」が全体の40.0%でほぼ4割であったのに対し、慢性期医療施設においても43.1%で、ほぼ4割であった。

表IV-6 コンプライアンスの徹底\_管理者等の随時・個別の指示の実施

	管理者等の随時・個別の指示の実施				合計		P
	おこなっている		おこなっていない		N	%	
老人保健施設	414	40.0	620	60.0	1034	100	0.24
慢性期医療施設	81	43.1	107	56.9	188	100	
合計	495	40.5	727	59.5	1222	100	



図IV-6 コンプライアンスの徹底\_管理者等の随時・個別の指示の実施

(7) コンプライアンスへの意識

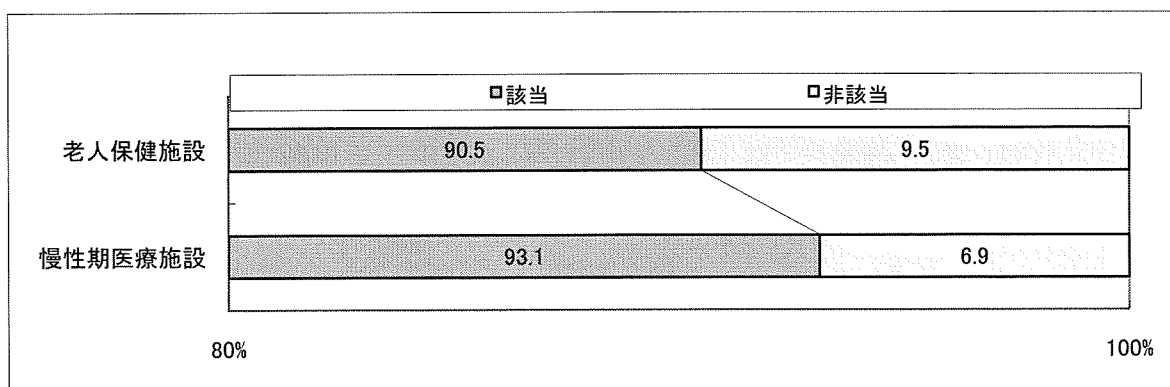
コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる内容について比較をおこなった。

1) 介護保険法・指定基準の遵守

介護保険法・指定基準の遵守については、慢性期医療施設の 93.1%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 90.5%を上回った。

表IV-7 介護保険法・指定基準の遵守

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	101	9.5	961	90.5	1062	100	0.15
慢性期医療施設	13	6.9	176	93.1	189	100	
合計	114	9.1	1137	90.9	1251	100	



図IV-7 介護保険法・指定基準の遵守

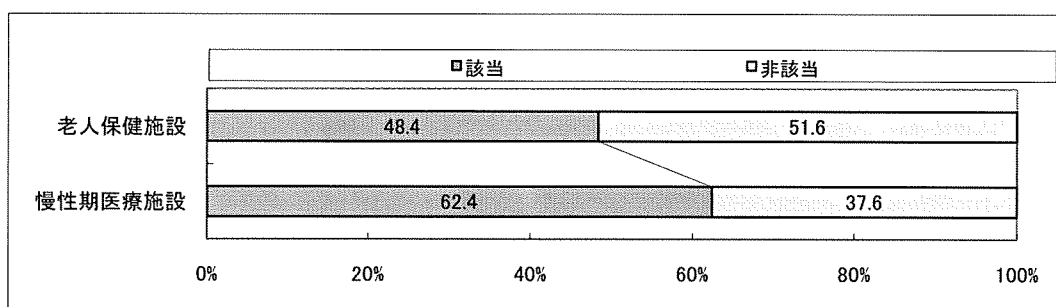
2) 介護保険法・指定基準以外の法令の遵守

介護保険法・指定基準以外の法令の遵守については、慢性期医療施設の 62.4%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 48.4%を上回った。

表IV-8 介護保険法・指定基準の遵守

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	548	51.6	514	48.4	1062	100	0.00
慢性期医療施設	71	37.6	118	62.4	189	100	
合計	619	49.5	632	50.5	1251	100	

\*\*P<.01



図IV-8 介護保険法・指定基準の遵守

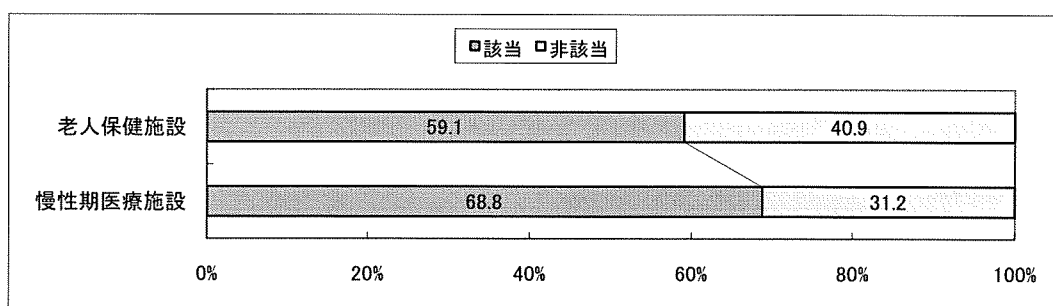
3) 法人・団体倫理・内部規制の遵守

法人・団体倫理・内部規制の遵守については慢性期医療施設の 68.8%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 59.1%を有意に上回った。

表IV-9 法人・団体倫理・内部規制の遵守

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	434	40.9	628	59.1	1062	100	0.01*
慢性期医療施設	59	31.2	130	68.8	189	100	
合計	493	39.4	758	60.6	1251	100	

\*P<.05



図IV-9 法人・団体倫理・内部規制の遵守

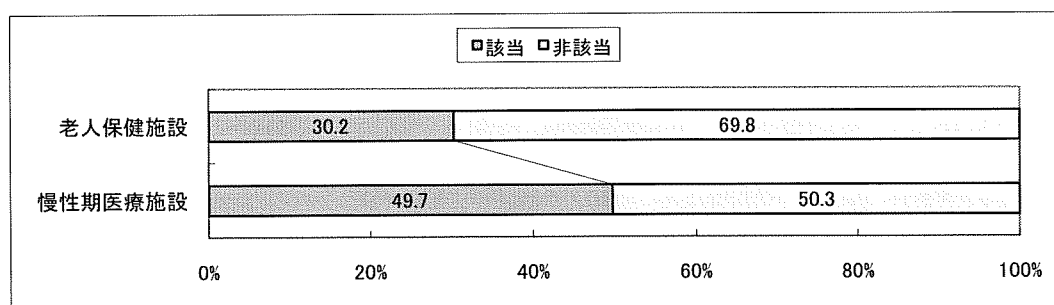
#### 4) 納税義務の遂行

納税義務の遂行については慢性期医療施設の 49.7%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 30.2%を上回った。

表IV-10 納税義務の遂行

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	741	69.8	321	30.2	1062	100	0.00**
慢性期医療施設	95	50.3	94	49.7	189	100	
合計	836	66.8	415	33.2	1251	100	

\*\*P<.01



図IV-10 納税義務の遂行

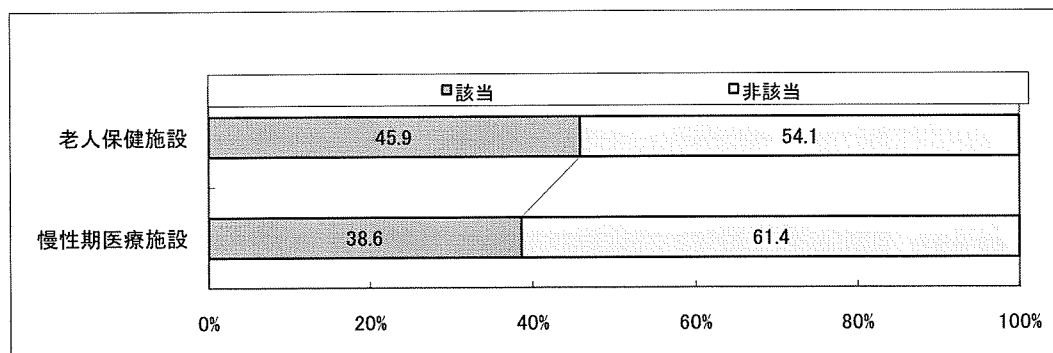
#### 5) 効率的な運営体制の確立

効率的な運営体制の確立については慢性期医療施設の 38.6%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 45.9%を下回った。

表IV-11 効率的な運営体制の確立

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	575	54.1	487	45.9	1062	100	0.04*
慢性期医療施設	116	61.4	73	38.6	189	100	
合計	691	55.2	560	44.8	1251	100	

\*P<.05



図IV-11 効率的な運営体制の確立



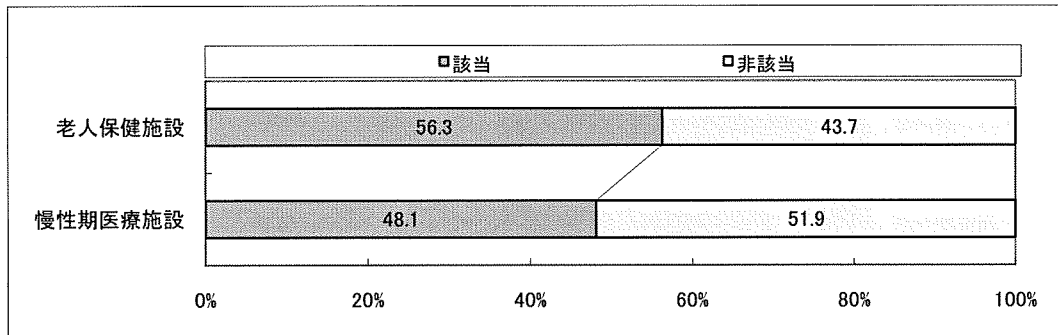
6) 安定的な経営

安定的な経営については慢性期医療施設の 48.1%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 56.3%を下回った。

表IV-12 安定的な経営

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	464	43.7	598	56.3	1062	100	0.02*
慢性期医療施設	98	51.9	91	48.1	189	100	
合計	562	44.9	689	55.1	1251	100	

\*P<.05



図IV-12 安定的な経営

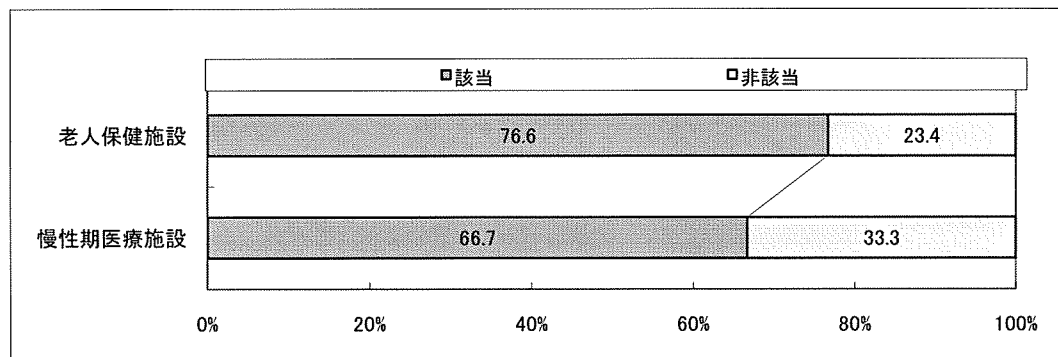
7) よりよい医療・介護サービスの提供

よりよい介護サービスの提供については慢性期医療施設の 66.7%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 76.6%を下回った。

表IV-13 よりよい医療・介護サービスの提供

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	248	23.4	814	76.6	1062	100	0.00**
慢性期医療施設	63	33.3	126	66.7	189	100	
合計	311	24.9	940	75.1	1251	100	

\*\*P<.01



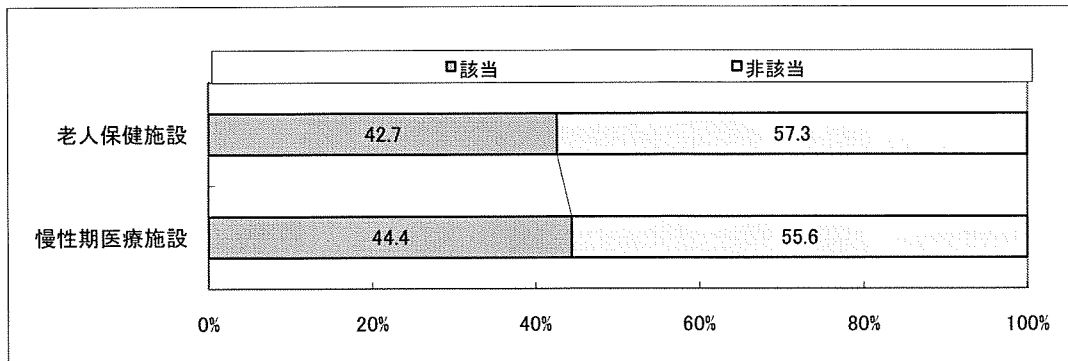
図IV-13 よりよい介護サービスの提供

8) 不適切な介護サービス提供の回避

不適切な介護サービス提供の回避については慢性期医療施設の 44.4%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 42.7%を上回った。

表IV-14 不適切な介護サービス提供の回避

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	609	57.3	453	42.7	1062	100	0.35
慢性期医療施設	105	55.6	84	44.4	189	100	
合計	714	57.1	537	42.9	1251	100	



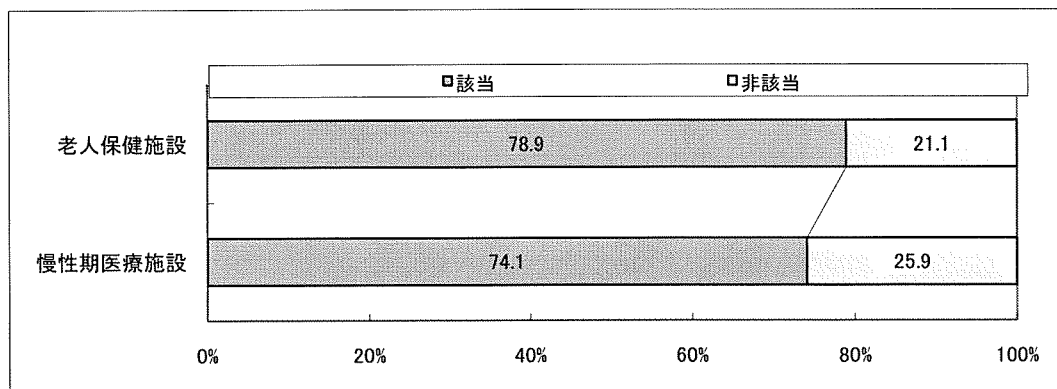
図IV-14 不適切な介護サービス提供の回避

9) 利用者の人権・尊厳の尊重

利用者の人権・尊厳の尊重については慢性期医療施設の 74.1%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 78.9%を下回った。

表IV-15 利用者の人権・尊厳の尊重

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	224	21.1	838	78.9	1062	100	0.35
慢性期医療施設	49	25.9	140	74.1	189	100	
合計	273	21.8	978	78.2	1251	100	



図IV-15 利用者の人権・尊厳の尊重

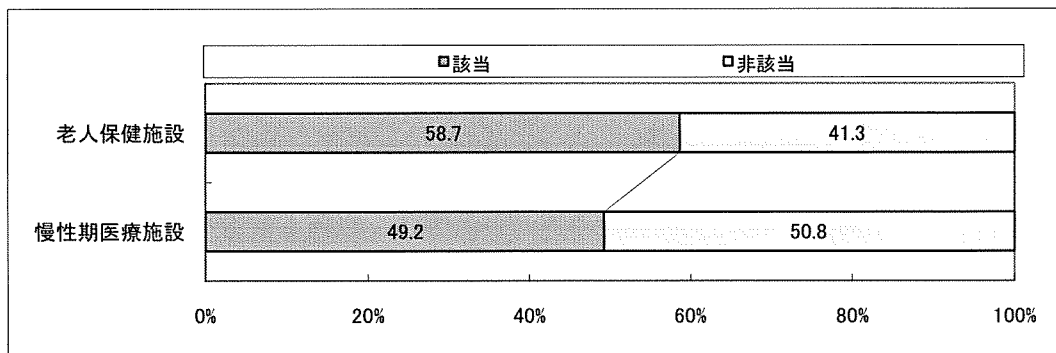
10) 利用者の満足度の追及

利用者の満足度の追及については慢性期医療施設の 49.2%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 58.7%を下回った。

表IV-16 利用者の満足度の追及

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	439	41.3	623	58.7	1062	100	0.01*
慢性期医療施設	96	50.8	93	49.2	189	100	
合計	535	42.8	716	57.2	1251	100	

\*P<.05



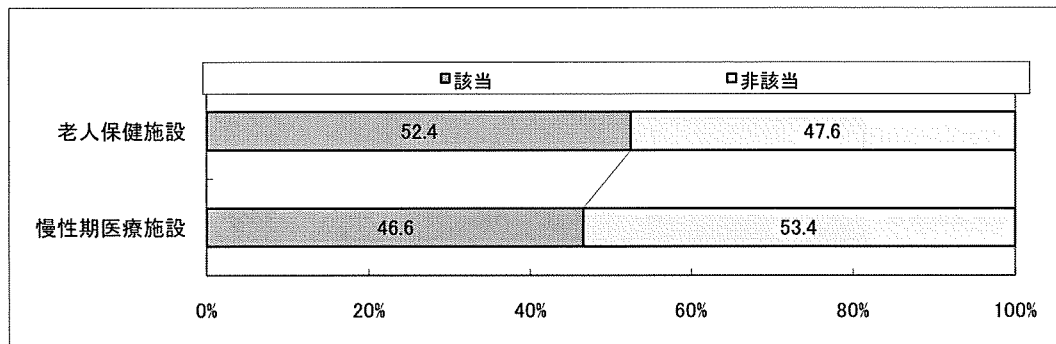
図IV-16 利用者の満足度の追及

11) 職員の意見のくみ取り

職員の意見のくみ取りについては慢性期医療施設の 46.6%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 52.4%を下回った。

表IV-17 職員の意見のくみ取り

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	505	47.6	557	52.4	1062	100	0.08
慢性期医療施設	101	53.4	88	46.6	189	100	
合計	606	48.4	645	51.6	1251	100	



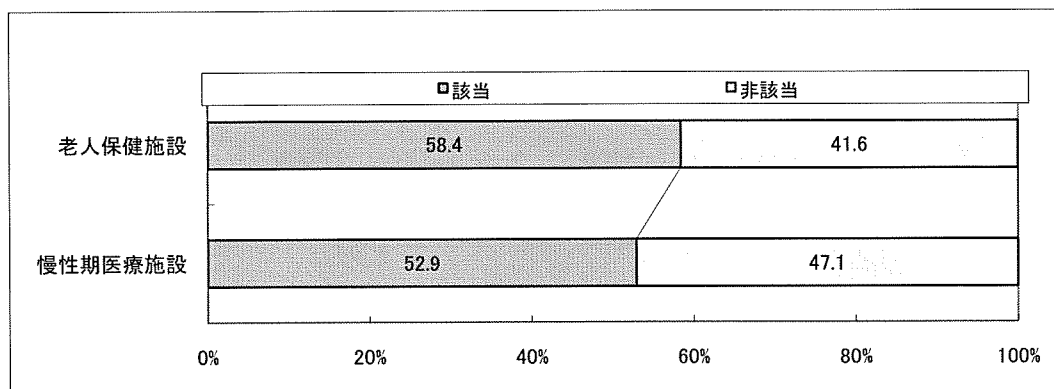
図IV-17 職員の意見のくみ取り

12) 労務環境の向上

労務環境の向上については慢性期医療施設の 52.9%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 58.4%を下回った。

表IV-18 労務環境の向上

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	442	41.6	620	58.4	1062	100	0.09
慢性期医療施設	89	47.1	100	52.9	189	100	
合計	531	42.4	720	57.6	1251	100	



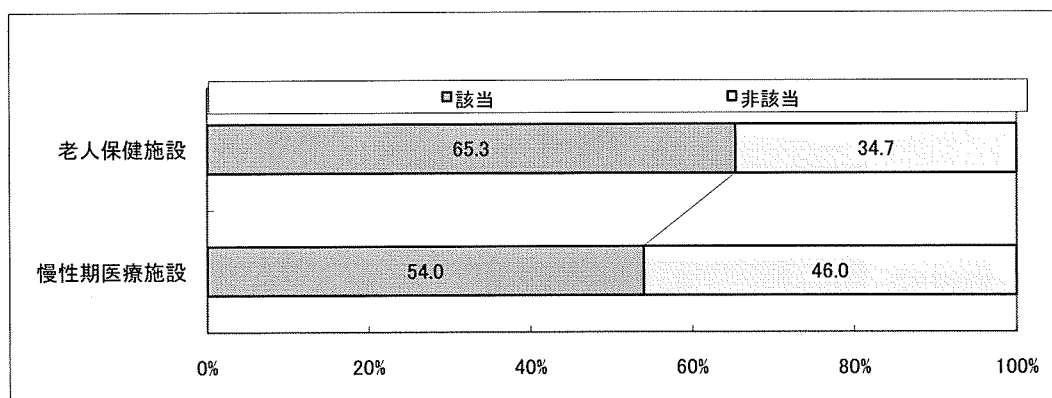
図IV-18 労務環境の向上

13) 職員の知識の向上

職員の知識の向上については慢性期医療施設の 54.0%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 65.3%を下回った。

表IV-19 職員の知識の向上

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	368	34.7	694	65.3	1062	100	0.00**
慢性期医療施設	87	46.0	102	54.0	189	100	
合計	455	36.4	796	63.6	1251	100	



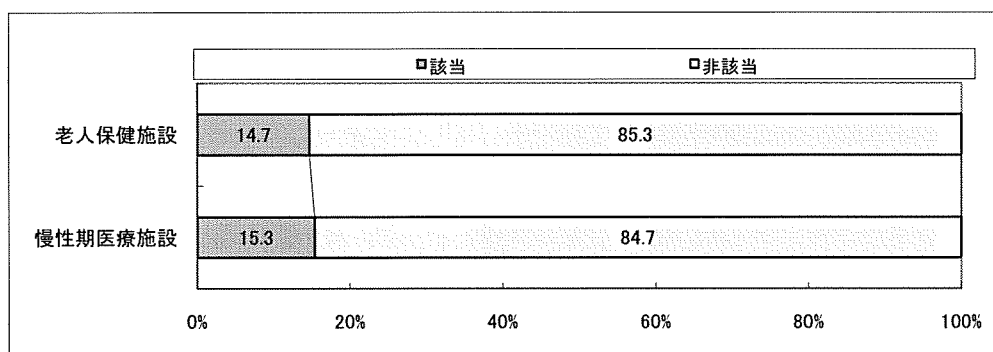
図IV-19 職員の知識の向上

14) 雇用の創出

雇用の創出については慢性期医療施設の 15.3%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 14.7%を上回った。

表IV-20 雇用の創出

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	906	85.3	156	14.7	1062	100	0.44
慢性期医療施設	160	84.7	29	15.3	189	100	
合計	1066	85.2	185	14.8	1251	100	



図IV-20 雇用の創出

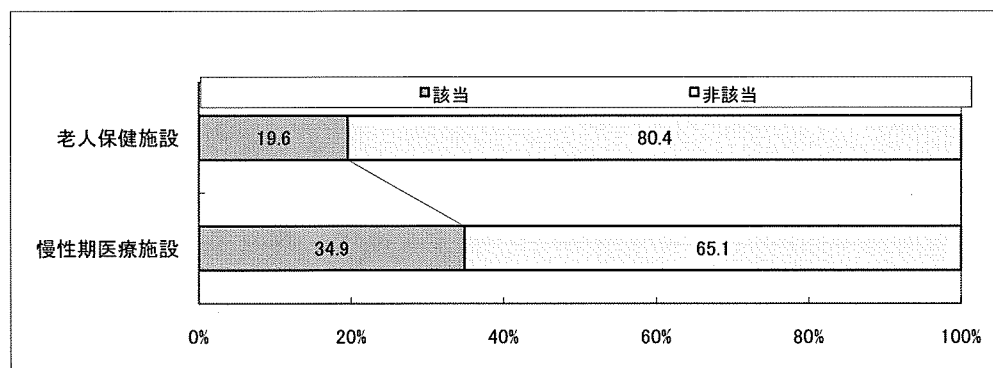
15) 取引先（企業等）との契約の確実な履行

取引先（企業等）との契約の確実な履行については慢性期医療施設の 34.9%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 19.6%を大きく上回った。

表IV-21 取引先（企業等）との契約の確実な履行

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	854	80.4	208	19.6	1062	100	0.00**
慢性期医療施設	123	65.1	66	34.9	189	100	
合計	977	78.1	274	21.9	1251	100	

\*\*P<.01



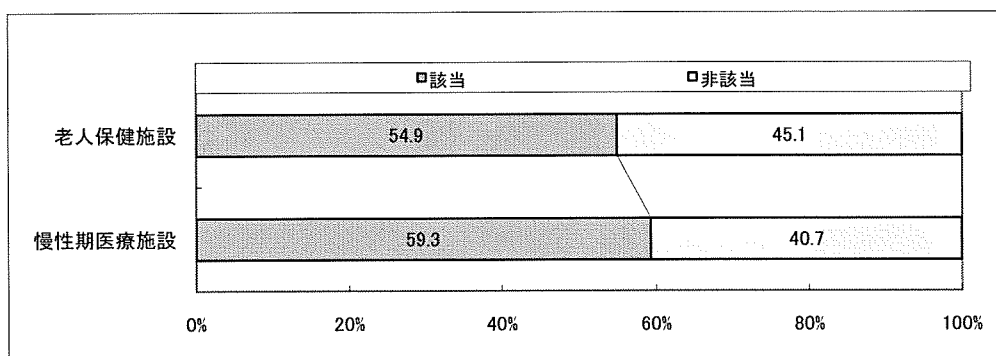
図IV-21 取引先（企業等）との契約の確実な履行

16) 地域社会への貢献

地域社会への貢献については慢性期医療施設の 59.3%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 54.9%を上回った。

表IV-22 地域社会への貢献

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	479	45.1	583	54.9	1062	100	0.15
慢性期医療施設	77	40.7	112	59.3	189	100	
合計	556	44.4	695	55.6	1251	100	



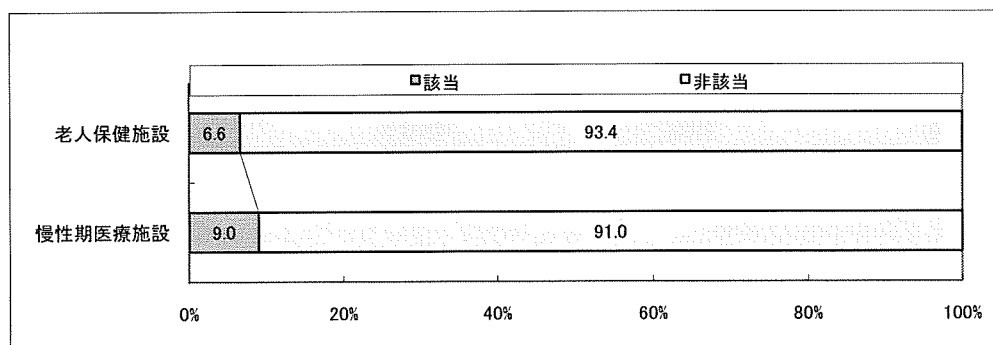
図IV-22 地域社会への貢献

17) 慈善活動

慈善活動については慢性期医療施設の 11.1%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 6.0%を上回った。

表IV-23 慈善活動

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	992	93.4	70	6.6	1062	100	0.15
慢性期医療施設	172	91.0	17	9.0	189	100	
合計	1164	93.0	87	7.0	1251	100	



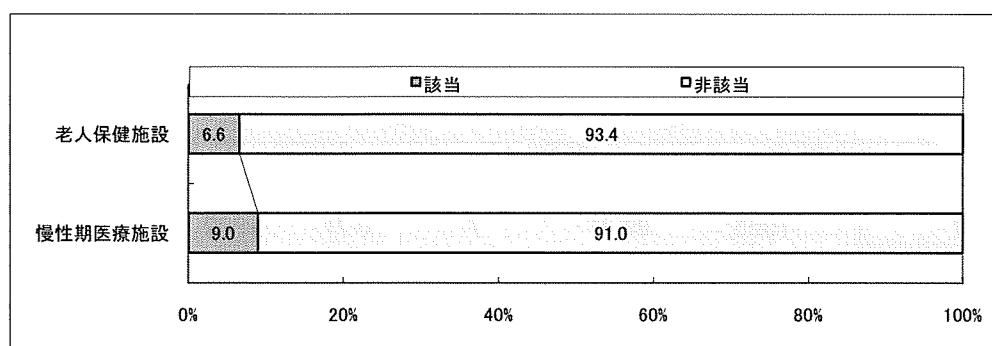
図IV-23 慈善活動

18) 文化・芸術等への支援活動

文化・芸術等への支援活動については慢性期医療施設の 9.0%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 6.6%を上回った。

表IV-24 文化・芸術等への支援活動

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	992	93.4	70	6.6	1062	100	0.15
慢性期医療施設	172	91.0	17	9.0	189	100	
合計	1164	93.0	87	7.0	1251	100	



図IV-24 文化・芸術等への支援活動

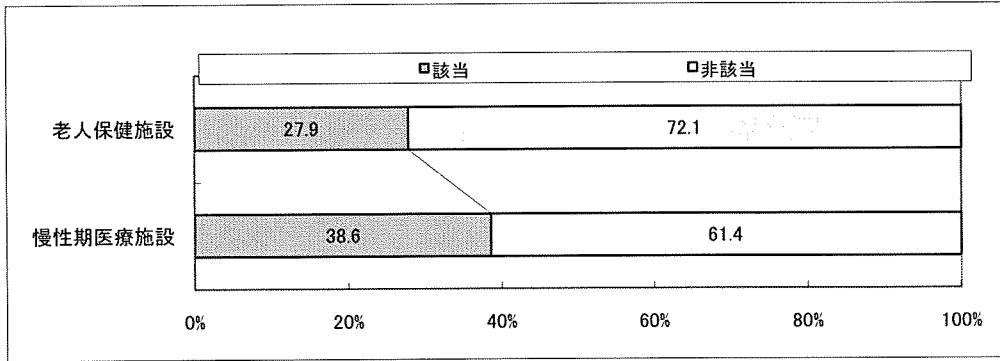
19) 環境への配慮

環境への配慮については慢性期医療施設の 38.6%が、コンプライアンス経営といった場合に意識して取り組んでいる（該当）と回答し、老人保健施設の 27.9%を上回った。

表IV-25 環境への配慮

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	766	72.1	296	27.9	1062	100	0.00**
慢性期医療施設	116	61.4	73	38.6	189	100	
合計	882	70.5	369	29.5	1251	100	

\*\*P<.01



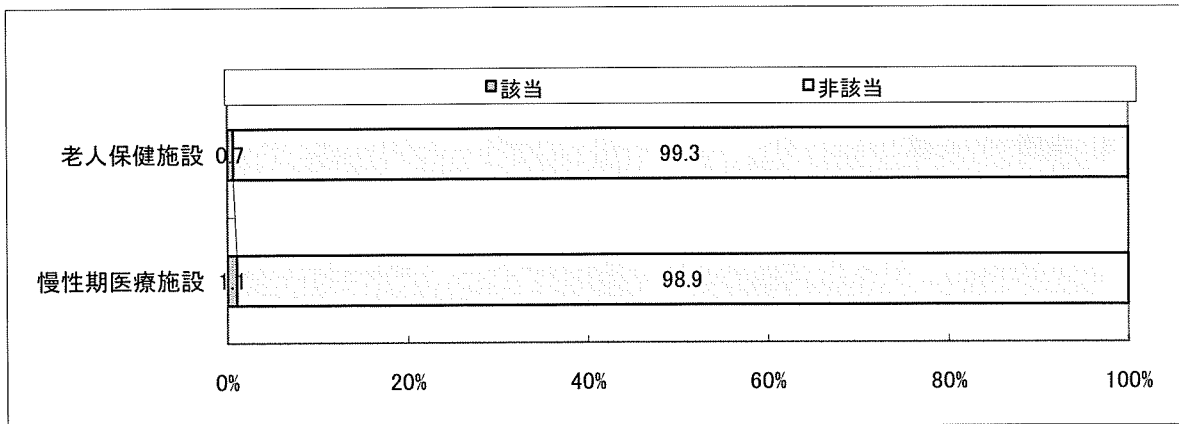
図IV-25 環境への配慮

20) 特に意識し、取組んでいる事項はない

特に意識し、取組んでいる事項はないについては慢性期医療施設の1.1%が該当と回答し、老人保健施設の0.7%を上回った。

表IV-26 特に意識し、取組んでいる事項はない

	非該当		該当		合計		P
	N	%	N	%	N	%	
老人保健施設	1055	99.3	7	0.7	1062	100	0.40
慢性期医療施設	187	98.9	2	1.1	189	100	
合計	1242	99.3	9	0.7	1251	100	



IV-26 特に意識し、取組んでいる事項はない



II. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
和田勝 小山秀夫 他著	第1部 3カ国の介護保険制度比較	和田 勝	介護保険制度の政策過程	東洋経済新報社	東京	2007	2-5
和田勝 小山秀夫 他著	第2部 日本の介護保険制度	和田 勝	介護保険制度の政策過程	東洋経済新報社	東京	2007	32-151
和田勝 小山秀夫 他著	第3部 ドイツの介護保険制度	和田 勝	介護保険制度の政策過程	東洋経済新報社	東京	2007	154-271
小山秀夫	第6章 保健医療サービスにおける専門職の役割 第1節 医療従事者とその役割	『社会福祉学習双書』編集委員会編	社会福祉学習双書 医学一般	全国社会福祉協議会出版部	東京	2009	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小山秀夫.	・介護保険と医療保険の非整合性. 社会保険研究所	介護保険旬報	2266	28-31	2006
小山秀夫.	・[時評]介護保険施設はどこに向かうのか.	月刊介護保険	121	22-23	2006.
小山秀夫	・介護療養病床の廃止で施設と居住系サービスの再編が恩格化する	日経「ヘルスケア」	2007年 1月号	40-42	2007
小山秀夫	・ご存じですか？後期高齢者医療制度	老人の専門医療を考える会	Part 29	110-129	2007
小山秀夫	・不正再発防止メンバーに聞く	東京新聞	2007年 8月8日	10面	2007
小山秀夫	・18年度介護報酬改定の影響が如実に出た	介護保険情報	平成20年 8月号	8-11 ページ	2008
小山秀夫	・介護報酬改定と事業者の経営課題	社会保険旬報	平成21年 1月1日	18-23 ページ	2009
小山秀夫	・要介護認定、こう変わる	月刊ケアマネジメント	平成21年1 月30日	26-27 ページ	2009
小山秀夫	・介護マンパワーの国際比較	病院	68(8)	641-644	2009

雑誌（続き）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小山秀夫	・介護政策・私はこう考える（特集 老後を誰が看るのかINTERVIEW 有識者に問う介護保険制度のあるべき姿）	週刊東洋経済	2009年09月05日号		2009

論文

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
野匡史, 中嶋和夫, 筒井孝子, <u>小山秀夫</u> .	・潜在曲線モデルを用いた介護老人福祉施設入所高齢者における ADL 能力の経年変化とその関連要因の検討(査読有)	介護経営	1(2)	92-100	2006.
<u>小山秀夫</u>	・改正介護保険制度の内容とその意義 (査読有)	保健医療科学	55(1)	2-9	2006
濱野強, 藤澤由和, <u>小山秀夫</u>	・高齢者ケアサービスにおける利用者経験評価の展開	経営と情報	Vol. 21	13-20	2008
原祥子, 實金栄, 太湯好子, 中嶋和夫, 小野光美, 沖中由美, 筒井孝子, <u>小山秀夫</u> .	・ユニット型介護老人保健施設における認知症ケアの質に関する測定尺度の開発。(査読有り)	介護経営	4(1)	24-34	2009.
東野定律, 張英恩, 金貞淑, 尹靖水, 筒井孝子, 中嶋和夫, <u>小山秀夫</u> .	・家族介護者の続柄別にみた介護負担感と心理的虐待の関係 (査読有り)	介護経営	4(1)	14-23	2009.
宮本啓子, 若杉早苗, 水嶋美穂子, 東野定律, <u>小山秀夫</u> .	・介護予防・特定高齢者施策における栄養改善事業の課題と対応に関する検討—静岡県牧之原市を事例として— (査読有り)	介護経営	4(1)	3-13	2009

厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業  
介護保険施設におけるマネジメント理論の展開に関する実証的研究  
平成 19 年度～21 年度 総合研究報告書

発行 2010 年 3 月 31 日  
主任研究者 小山 秀夫  
〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田 52-1  
静岡県立大学経営情報学部

